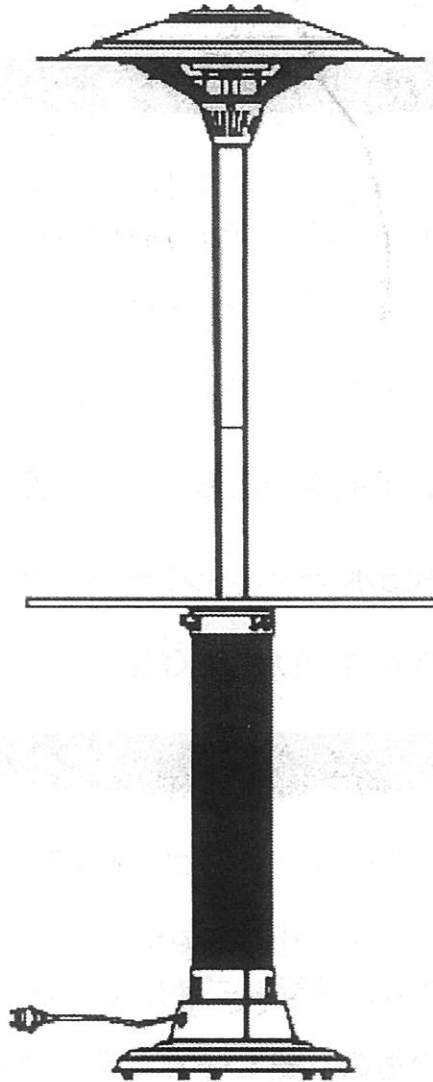


取扱説明書





電気ヒーター
EPH-G20C09









警告

この説明書の記載事項を守れない場合や誤った取り扱いをされた場合には、怪我や死または物的損害を引き起こしますので、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、じゅうぶんに理解してください。








この取扱説明書は、下記マークの示す内容にて説明いたしております。












 警告	怪我や死または物的損害を引き起こす可能性のある内容です。
 注意	障害や物的損害を引き起こす可能性のある内容です。
	絶対してはいけない内容です。
	絶対守らなければならない内容です。


電気工事について







-  この製品は単相交流200V仕様です。ご使用になる前に、法的資格を持つ電気工事士に工事を依頼してください。
-  単相・定格250V20A接地極付きコンセントを設置してください。
-  コンセントはD種接地工事をおこなってください。
-  単相200V20A以上の専用回路と漏電遮断機を設置してください。
-  電源プラグは、接地15A防水コードコネクターボディを使用してください。
-  動力用3相200Vはご使用なさないでください。

安全にご使用いただくために

-  組立が完成するまでは、決してヒーターに電源を入れないでください。
-  この製品は屋外・屋内どちらでもご使用いただけます。屋内でご使用されるときは開放的な十分広さのある部屋でご使用ください。
-  製品の周囲に引火性のもの（例えばカーテンや家具等）が有れば最低1メートル以上遠ざけてください。
-  プールや浴槽や洗い場の近くでご使用なさないでください。
-  換気のされない場所でのご使用はなさないでください。
-  ガス・ガソリン・灯油・塗料等、引火性の有る化学製品の有る場所では、ご使用なさないでください。
-  ヒーターのグリルカバー金網目の隙間には、どのような物も差し込まないでください。

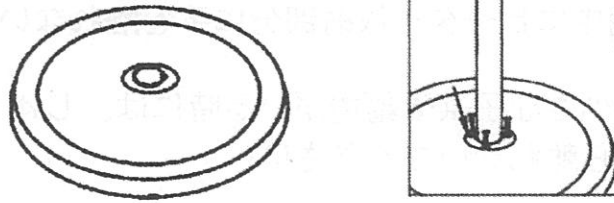
-  ヒーターを移動させる時には必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ヒーターが冷めたのを確認してからおこなってください。
-  ご使用中にヒーター放射部分に手を触れないでください。
-  周囲に小さな子供や動物がいる時には、じゅうぶん監視してください。決してその場から離れないでください。
-  取扱説明に従わない組み立てや、部品への改造は決してなさないでください。組立完成したヒーターの高さは1.8メートル以上でなければなりません。
-  この機器は動作中とても高温になり、電源を切った後も危険です。、触ることが出来る温度になるまで手を触れないでください。
-  カーテンや可燃性素材で閉切った部屋ではご使用なさないでください。燃え出して火事になる危険があります。
-  どのようなもので有っても製品を覆わないでください。電源を切った後の短い時間で有っても、燃え出す可能性が有ります。
-  製品に振動を与えたり、ぶついたりしないでください。故障の原因となります
-  ご使用中は製品を移動したり傾けたりしないでください。
-  修理は、資格のある専門の技術者または弊社へ直接ご依頼ください。
-  電源コードに損傷を確認した時は、資格のある電気工事士または弊社へ連絡し新しい電源コードにお取替え願います。

注意  この製品に使用されてる電源コードは、この製品専用のもので、決して他の製品に使用なさないでください。

-  もし子供や体に障害の有る人が使用する時には、必ず大人の監督の下でおこなってください。
-  この製品を布ドライヤーまたはタオルドライヤーとして使用なさないでください。
-  この製品をサウナヒーターとしてご使用なさないでください。
-  この製品の近くでペットを飼わないでください
-  この製品の水洗いはなさないでください。
-  濡れた手でこの製品を操作しないでください

組み立て方1

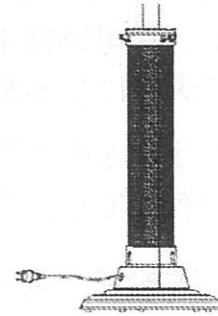
ステップ1：3本のボルトを使用しボトムチューブをベースに固定します。



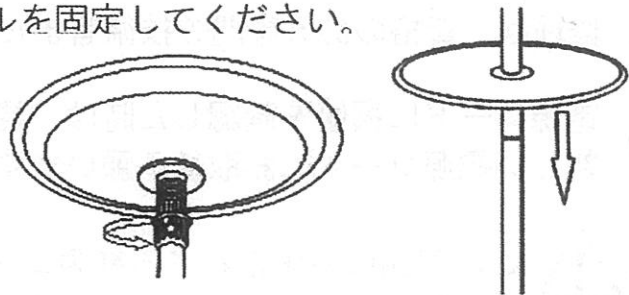
ステップ2：ボトムチューブとミドルチューブのネジ山を合わせ接合します。



ステップ3：ボトムチューブの上からカーボンヒーター本体を静かに降ろします。



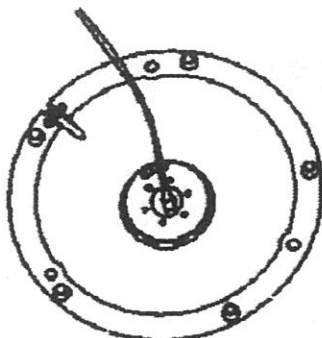
ステップ4：テーブル穴にプラスチックのキャップと固定アダプターを取り付け、ミドルチューブの上からテーブルを差し込んでアダプターのノブを回してテーブルを固定してください。



ステップ5：トップチューブとミドルチューブのネジ山を合わせ接合します。

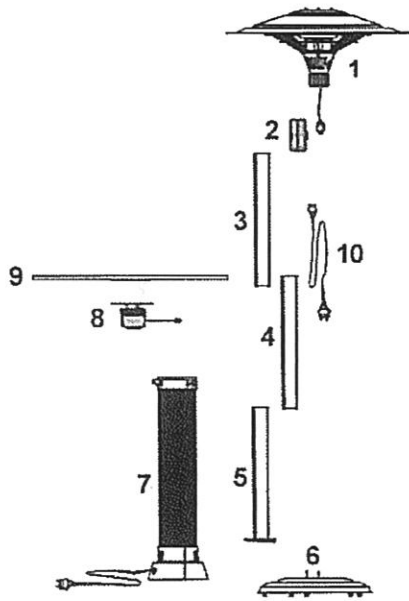


ステップ6：電源コードのメスプラグをベースの底からチューブの中を通して、トップチューブの上部に引き出します。



組み立てには必ず大人2名でおこなってください。
電源コードをチューブに通すとき、チューブの端でコードを傷つけないようにご注意ください。

** 電気パティオヒーター組み立て方 **



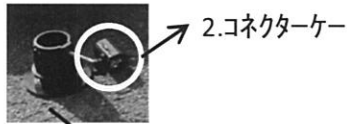
パーツ名

- | | | |
|--------------|--------|----|
| 1 ゴールドヒーター本体 | 11 ボルト | 3本 |
| 2 コネクターケース | 12 ネジ | 2本 |
| 3 トップチューブ | | |
| 4 ミドルチューブ | | |
| 5 ボトムチューブ | | |
| 6 ベース | | |
| 7 カーボンヒーター本体 | | |
| 8 固定アダプター | | |
| 9 テーブル | | |
| 10 電源コード | | |

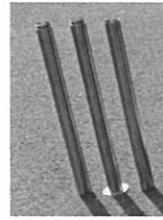
①200V電気パラソルパティオヒーターの部品です



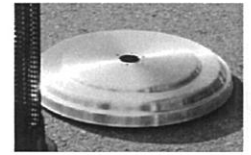
1.ゴールドヒーター本体



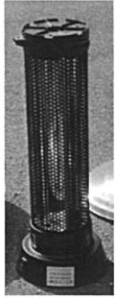
3.固定アダプター



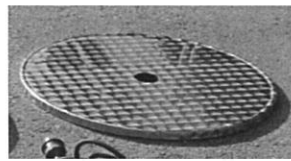
3.トップチューブ
4.ミドルチューブ
5.ボトムチューブ



6.ベース



7.カーボンヒーター本体



9.テーブル



10.電源コード



11.ボルト 3本
12.ネジ 2本

②



ベースにボトムチューブを付属のスパナと
ブルとで結合します

③



ボルトは3本です。
写真の様に付属のスパナで締めてください。

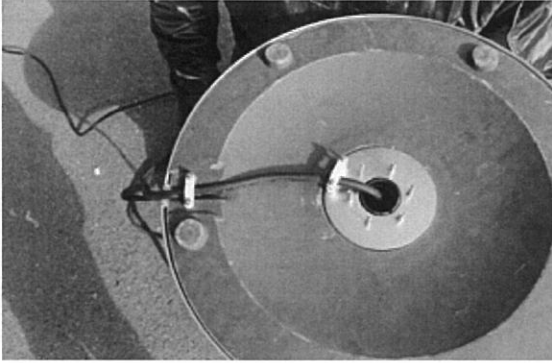
** 電気パティオヒーター組み立て方 **

④



ゴールドヒーター本体に結合するコードを写真の様に底の部分からポールの中へ通します。

⑤



裏側は写真の様に処理してください

⑥



ミドルチューブを通してください

⑦



ポール自体がネジになっていますので、回して留めてください

⑧



カーボンヒーター本体を写真の様にコードを通してください

** 電気パティオヒーター組み立て方 **

⑨



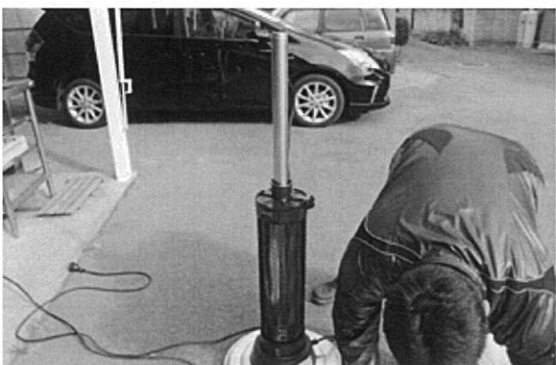
カーボンヒーター本体をボトムチューブ、ミドルチューブに通してください

⑩



カーボンヒーター本体にボトムチューブ、ミドルチューブが途中で引っかからないように通してください。

⑪



カーボンヒーター本体が通ったら、机の高さを固定する固定アダプターで締め付け用のネジが付いている部品(下部分)を通してください

⑫



テーブルを通してください

** 電気パティオヒーター組み立て方 **

⑬



テーブルを通したら固定アダプター(上部分)を通してください。

※ねじ山の付いている方が下です

⑭



写真の様に通してください

⑮



通した状態です。

⑯



机の下の固定アダプターの高さを決めて、
机の上の固定アダプターで机を挟むように締めて
机をお好みの高さで固定してください

** 電気パティオヒーター組み立て方 **

⑰



机が上下の固定アダプターで挟んで固定された状態です

⑱



【写真Ⅰ】

【写真Ⅱ】



トップチューブにコードを通して、回して固定してください。
(写真Ⅰ)

写真Ⅱのようになります。

⑲



ゴールドヒーター本体と電源コードを接続してください

⑳



接続したらコネクタケースをはめて固定してください

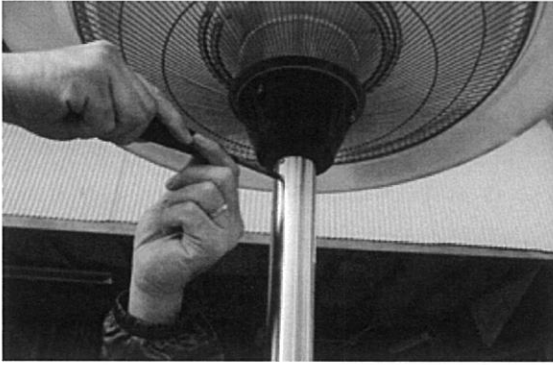
㉑



ゴールドヒーター本体をトップチューブに、
2個のネジ穴に合わせて入れてください

** 電気パティオヒーター組み立て方 **

22



2個のネジとプラスドライバーで、
トップチューブとゴールドヒーター本体を固定してください

23



200ボルトにつないで完成です(^ ^)

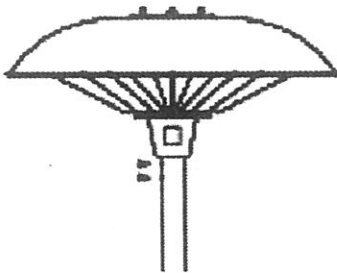
※コードの先のプラグは100Vのように企画が
統一されていない為、200Vの場合は種類が多いです。
弊社でつけているソケットがそのままお客様のところで
使えるわけではありませんので、右写真の様に
丸い端子を付けた状態で出荷いたします。
電気工事士さんに頼んでプラグを付けるか
200Vのブレーカーに直接つないでもらってください。

組み立て方2

ステップ7：ゴールドヒーターの電源オスプラグとチューブを通ったメスプラグをしっかりと奥まで差し込んで、コネクターケースで両方を固定してください。



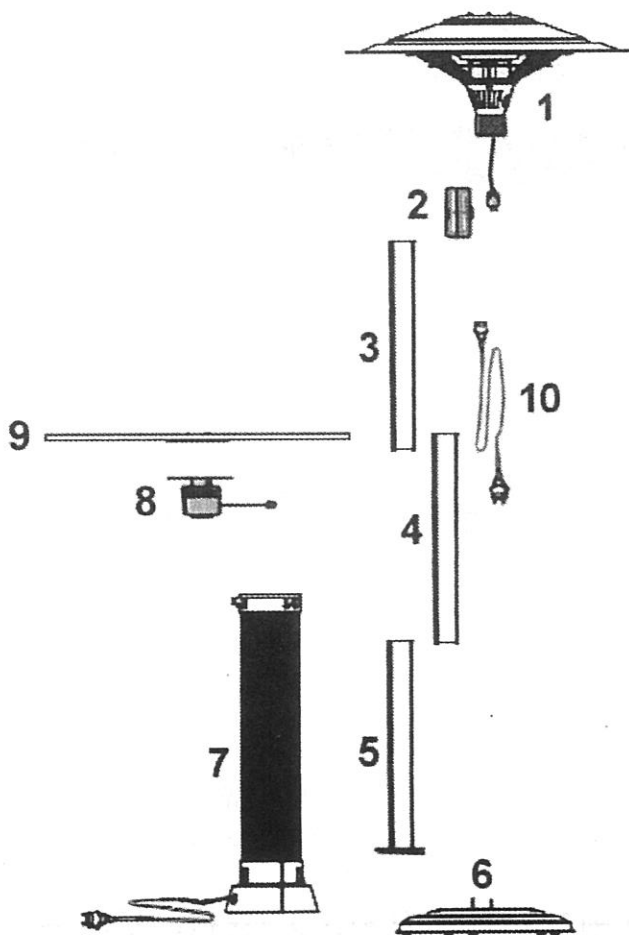
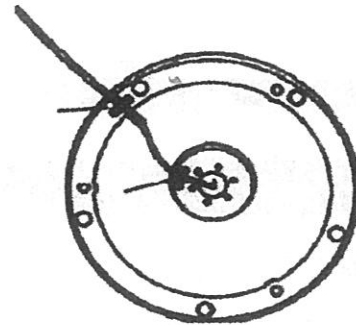
ステップ8：



2本の小ネジを使用して、ゴールドヒーター本体とトップチューブを接続固定します。

ステップ9：

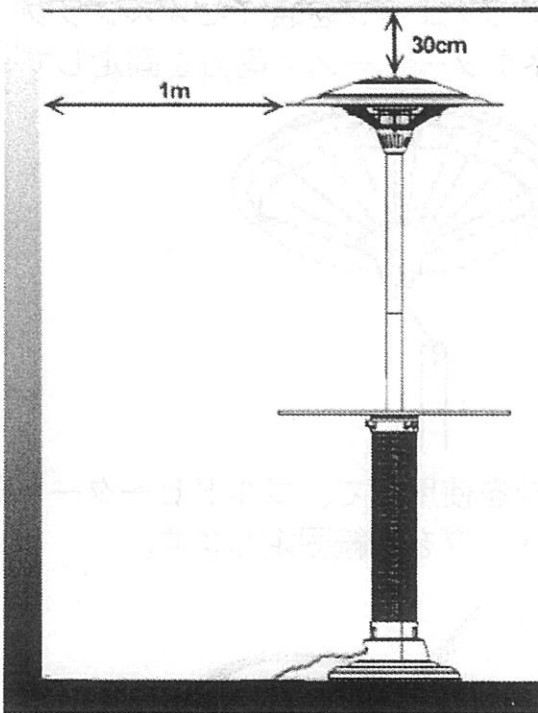
ベース底の2か所のネジを使用して、電源コードを弛みの無い状態でベース底に固定します。



パーツ名

- 1 ゴールドヒーター本体
- 2 コネクターケース
- 3 トップチューブ
- 4 ミドルチューブ
- 5 ボトムチューブ
- 6 ベース
- 7 カーボンヒーター本体
- 8 固定アダプター
- 9 テーブル
- 10 電源コード

設置の仕方



- ❗ 必ず平らな場所に水平を保ち設置してください。
- ❗ 必ず乾いた場所へ設置してください。
- ⊘ この製品は防水規格IPX4となっていますが、雨の当たる場所でのご使用は決してなさないでください。
- ❗ 可燃性材質壁から最低1m以上の間隔を開けてください。
- ❗ 可燃性材質天井から最低30cm以上の間隔を開けてください。

メンテナンス

○必ず電源プラグを抜いてから、湿った布で外側を拭いてください。

※腐食を及ぼす化学薬品は使用なさないでください。

○ゴールドハロゲンヒーターエレメントやカーボンヒーターエレメントの交換・修理は、資格のある電気工事士あるいは弊社へ依頼してください。

ご使用方法



一番上のゴールドヒーターのスイッチは、熱を3段階に切り替えます。

- | | |
|----------|-----------|
| (I) | 900w (弱) |
| (II) | 1100W (中) |
| (I + II) | 2000W (強) |



一番下のカーボンヒーターは手動とオートセンサーに切り替えます。

- | | |
|-----|---------|
| (一) | ON |
| (二) | OFF |
| (三) | オートセンサー |

※電源を入れた最初の数分間、ダークポイント（ヒーターエレメントに発光しない部分）が現れる時がありますが、これは正常で、製品に異常を与えるものではありません。

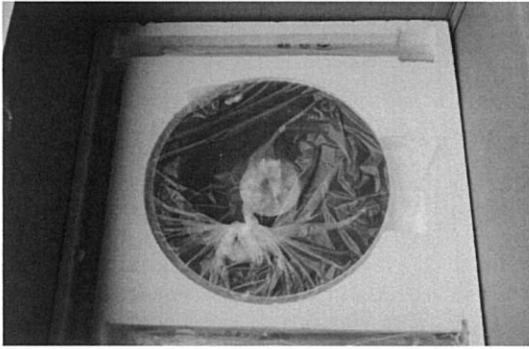
❗ この製品をご使用なさない時には、必ず電源プラグを抜いてください。

製品仕様

製品名 (品番)	電気ヒーター (EPH-G20C09)
サイズ	高さ2.1m
設置箇所	屋外、屋内 クリアランス (可燃性天井から30cm以上、可燃性壁から1m以上)
上部消費電力	2000W (900W/1100W)
上部動作モード	(スイッチⅠ) OFF-900W弱-OFF (スイッチⅡ) OFF-1100W中-OFF (スイッチⅠ+Ⅱ) OFF-2000W強-OFF
下部消費電力	900W
下部動作モード	OFF-ON-OFF
安全装置	転倒時電源遮断装置
電源コード	2.4m
保障期間	お買上の日から1年間
発売元	有限会社いけだや http://www.ikedaya.net
お問合せ先	〒969-1169福島県本宮市本宮字小原田15 TEL0243-33-4383 (9:00~17:00)

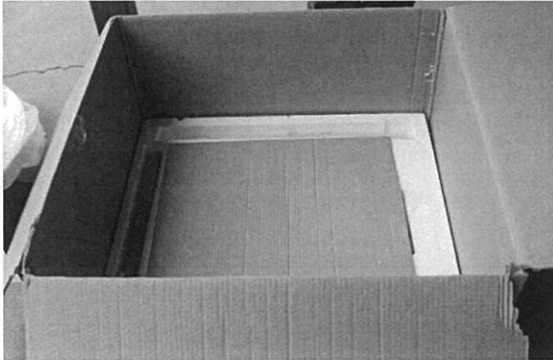
** 電気パティオヒーター:返却時梱包手順 No.1 **

①



・ビニールに入れ、写真のようにポール3本、ベースを入れて下さい。

②



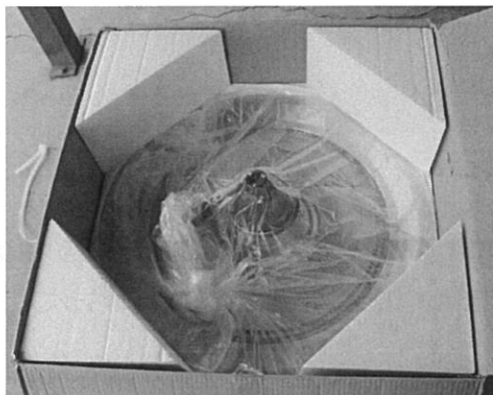
・ダンボールを乗せて下さい。

③



・発泡スチロールをかぶせます。

④



・ビニールに入れたゴールドヒーター本体(傘の部分)を箱に入れて下さい。

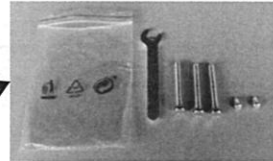
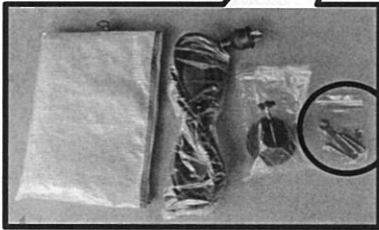
** 電気パティオヒーター:返却時梱包手順 No.1 **

⑤



・発泡スチロールを写真のように置いて下さい。

・ネジ・アダプター・電源コードを袋に入れ
写真のように入れて下さい。



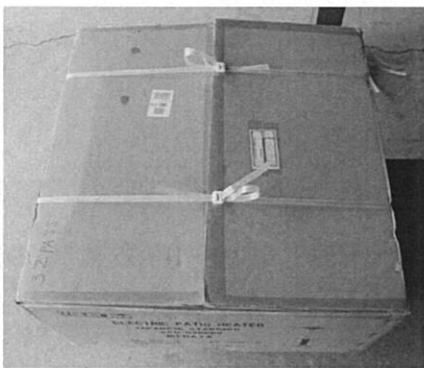
・スパナ
・ボルト 3本
・ネジ 2本

⑥



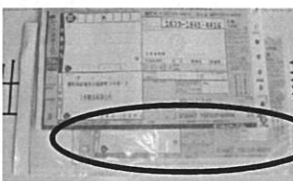
・ビニールに入れたテーブルを置き、
発泡スチロールを乗せて下さい。

⑦



・ふたをしてPPバンド2本で留めて下さい。

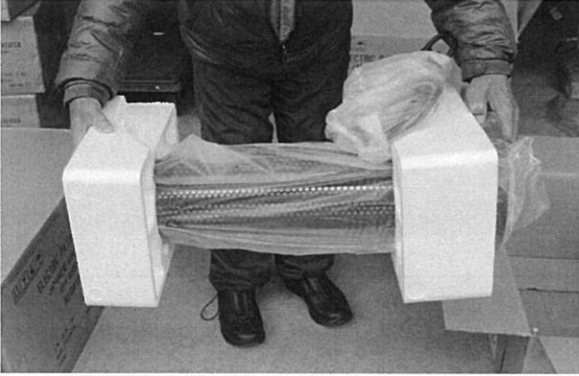
⑧



・出荷伝票(写真左上)の下のビニール封筒の中の
返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って
返してください。(写真下)

** 電気パティオヒーター:返却時梱包手順 No.2 **

①



- ・カーボンヒーター部分をビニールに入れ
写真のように発泡スチロールをつけて下さい。

②



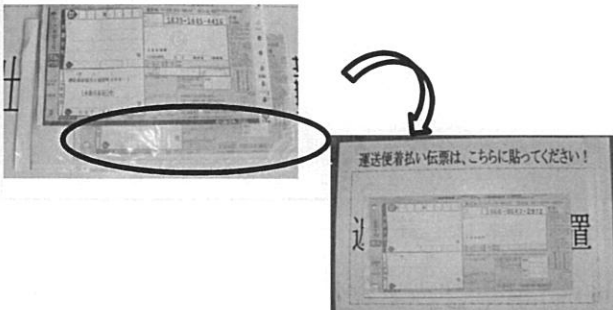
- ・箱に入れて下さい。

③



- ・ふたをしてPPバンド2本で留めて下さい。

④



- ・出荷伝票(写真左上)の下のビニール封筒の中の
返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って
返してください。(写真下)

梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。